



保育室便り 12月号



寒さが増した12月は子どもたちの登園も手袋や毛糸の帽子など温かく、かわいい格好が多く見られるようになりました。

「暖かそうな手袋だね！」と声をかけると「先生もつけていいよ」と言葉も温かい子ども達でした。

お部屋の中ではクリスマスオーナメントの製作です。玄関に飾り、ツリーとサンタの飾りをテーブルに並べ雰囲気を楽しみました。

絵本が大好きな子どもたちはクリスマスにちなんだ絵本や冬の雰囲気を味わう絵本を読み合わせました。

仕掛け絵本では「あった」と驚きながら物語を楽しみ、「てぶくろ」というお話では手袋の中にたくさんの動物が次々に入っていくことに嬉しい様子でした。



12月の絵本

『まどから☆おくりもの』

五味 太郎 作・絵

偕成社

五味太郎の仕掛け絵本シリーズの一冊です。思いがけない展開が子どもたちを驚かせます。

『てぶくろ』

ウクライナ民話

エウゲーニ・M・ラチェフ絵

うちだしこ訳

純粋に物語の不思議さを楽しめ、登場する動物たちの個性が楽しめるお話です。

『かおかおどんなかお』

柳原 良平 作

こぐま社

トナカイの顔を作る前に読み合わせを行いました。お絵かきのヒントにもなる一冊です

1月の遊び

室内では…簡単なルールのあるお正月遊びを中心に数えることを意識した遊びを楽しみます。

散歩では…過ごしやすい日は出来るだけ公園などで体を動かして遊びたいと思います。

製作では…福笑い、折紙で簡単な獅子を作ります。大きなお友達は粘土遊びを楽しみます。

意識したい行事（1月の行事七草の節句）

新年の初もうでや、お寺のお参り、お正月遊び、親戚との新年の挨拶も子ども達には思い出になります。そして、一週間も過ぎると1月7日の七草粥は「節句」の一つで、ご存知の桃の節句、端午の節句などと同じ季節の変わり目を教えてくれます。別名「七草の節句」です。

七草を食べて一年の豊作と、無病息災を願うものです。

冷たい風の中、元気に七草を探しながらのお散歩はいかがですか。